

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第1回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	11	22	33	44	55
物質Bの重さ	4.4	8.8	13.2	17.6	22

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $4.4 \div 11 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) ① 物質Aが22.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ22.5gを0.4倍すればよいことになるので $22.5 \times 0.4 = 9$ g になります。

9

g

- ② 物質Aが22.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $22.5 + 9 = 31.5$ g になります。

31.5

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.4で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.4 = 46$ g になります。

46

g

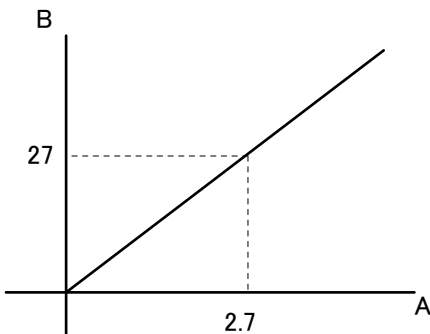
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 46 = 64.4$ g になります。

64.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが33gのとき、物質Bの重さが13.2gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $13.2 \div 33 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) 物質Aが22.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $22.5 \times 0.4 = 9$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $22.5 + 9 = 31.5$ g になります。

31.5

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第2回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	13	26	39	52	65
物質Bの重さ	29.9	59.8	89.7	119.6	149.5

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $29.9 \div 13 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 2.3

- (4) ① 物質Aが17.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ17.5gを2.3倍すればよいことになるので $17.5 \times 2.3 = 40.25$ g になります。

40.25

g

- ② 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 40.25 = 57.75$ g になります。

57.75

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを2.3で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 2.3 = 8$ g になります。

8

g

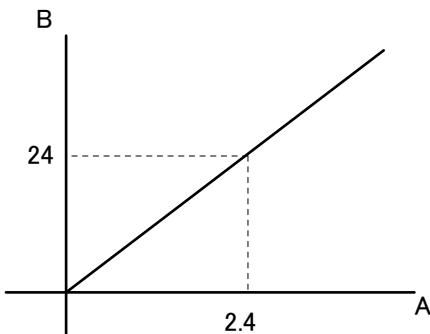
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 8 = 26.4$ g になります。

26.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが39gのとき、物質Bの重さが89.7gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $89.7 \div 39 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 2.3

- (4) 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $17.5 \times 2.3 = 40.25$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 40.25 = 57.75$ g になります。

57.75

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第3回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	13	26	39	52	65
物質Bの重さ	29.9	59.8	89.7	119.6	149.5

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $29.9 \div 13 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3

- (4) ① 物質Aが20gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ20gを2.3倍すればよいことになるので $20 \times 2.3 = 46$ g になります。

46

g

- ② 物質Aが20gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $20 + 46 = 66$ g になります。

66

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを2.3で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 2.3 = 8$ g になります。

8

g

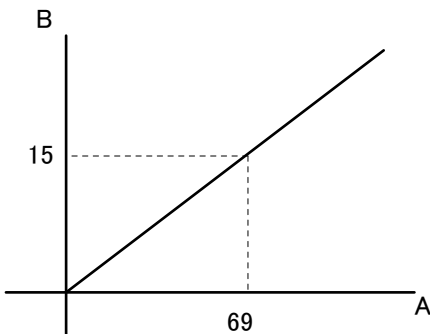
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 8 = 26.4$ g になります。

26.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが39gのとき、物質Bの重さが89.7gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $89.7 \div 39 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3

- (4) 物質Aが20gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $20 \times 2.3 = 46$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $20 + 46 = 66$ g になります。

66

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第4回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	5	10	15	20	25
物質Bの重さ	1	2	3	4	5

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $1 \div 5 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2

- (4) ① 物質Aが17.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ17.5gを0.2倍すればよいことになるので $17.5 \times 0.2 = 3.5$ g になります。

3.5

g

- ② 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 3.5 = 21$ g になります。

21

g

- (5) ① 物質Bが13.8gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ13.8gを0.2で割ればよいことになるので、 $13.8 \div 0.2 = 69$ g になります。

69

g

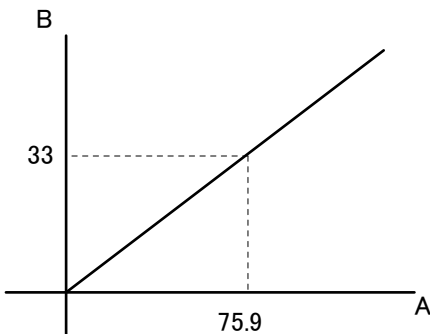
- ② 物質Bが13.8gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $13.8 + 69 = 82.8$ g になります。

82.8

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが15gのとき、物質Bの重さが3gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $3 \div 15 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2

- (4) 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $17.5 \times 0.2 = 3.5$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 3.5 = 21$ g になります。

21

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第5回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	12	24	36	48	60
物質Bの重さ	7.2	14.4	21.6	28.8	36

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $7.2 \div 12 = 0.6$ になります。

0.6

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.6倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.6 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.6

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.6倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.6 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.6

- (4) ① 物質Aが12.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ12.5gを0.6倍すればよいことになるので $12.5 \times 0.6 = 7.5$ g になります。

7.5

g

- ② 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 7.5 = 20$ g になります。

20

g

- (5) ① 物質Bが13.8gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ13.8gを0.6で割ればよいことになるので、 $13.8 \div 0.6 = 23$ g になります。

23

g

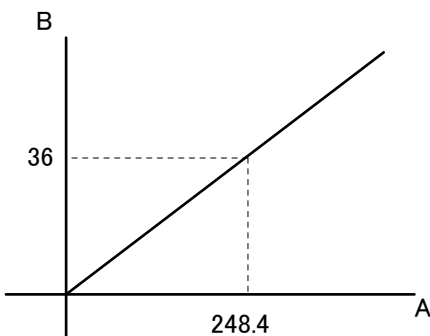
- ② 物質Bが13.8gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $13.8 + 23 = 36.8$ g になります。

36.8

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが36gのとき、物質Bの重さが21.6gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $21.6 \div 36 = 0.6$ になります。

0.6

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.6倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.6 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.6

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.6倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.6 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.6

- (4) 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $12.5 \times 0.6 = 7.5$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 7.5 = 20$ g になります。

20

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第6回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	16	32	48	64	80
物質Bの重さ	3.2	6.4	9.6	12.8	16

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $3.2 \div 16 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2

- (4) ① 物質Aが12.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ12.5gを0.2倍すればよいことになるので $12.5 \times 0.2 = 2.5$ g になります。

2.5

g

- ② 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 2.5 = 15$ g になります。

15

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.2で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.2 = 92$ g になります。

92

g

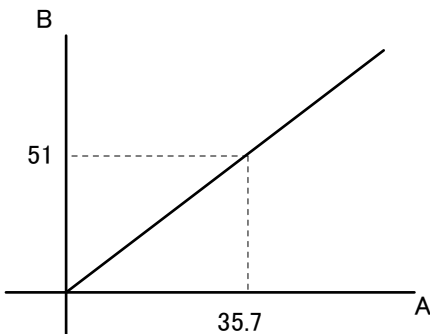
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 92 = 110.4$ g になります。

110.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが48gのとき、物質Bの重さが9.6gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $9.6 \div 48 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てればよいことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2

- (4) 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $12.5 \times 0.2 = 2.5$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 2.5 = 15$ g になります。

15

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第7回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	15	30	45	60	75
物質Bの重さ	34.5	69	103.5	138	172.5

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $34.5 \div 15 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3

- (4) ① 物質Aが12.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ12.5gを2.3倍すればよいことになるので $12.5 \times 2.3 = 28.75$ g になります。

28.75

g

- ② 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 28.75 = 41.25$ g になります。

41.25

g

- (5) ① 物質Bが11.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ11.5gを2.3で割ればよいことになるので、 $11.5 \div 2.3 = 5$ g になります。

5

g

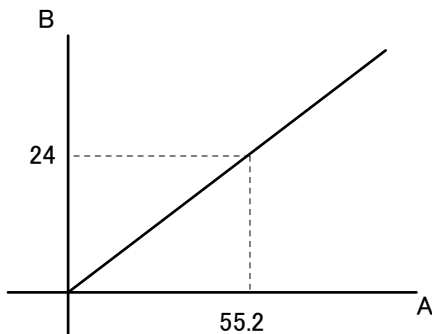
- ② 物質Bが11.5gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $11.5 + 5 = 16.5$ g になります。

16.5

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが45gのとき、物質Bの重さが103.5gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $103.5 \div 45 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3

- (4) 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $12.5 \times 2.3 = 28.75$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 28.75 = 41.25$ g になります。

41.25

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第8回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	19	38	57	76	95
物質Bの重さ	1.9	3.8	5.7	7.6	9.5

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $1.9 \div 19 = 0.1$ になります。

0.1

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1

- (4) ① 物質Aが22.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ22.5gを0.1倍すればよいことになるので $22.5 \times 0.1 = 2.25$ g になります。

2.25

g

- ② 物質Aが22.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $22.5 + 2.25 = 24.75$ g になります。

24.75

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.1で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.1 = 184$ g になります。

184

g

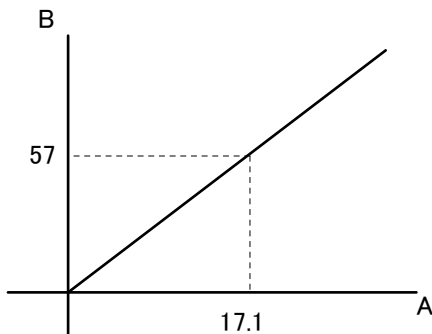
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 184 = 202.4$ g になります。

202.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが57gのとき、物質Bの重さが5.7gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $5.7 \div 57 = 0.1$ になります。

0.1

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1

- (4) 物質Aが22.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $22.5 \times 0.1 = 2.25$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $22.5 + 2.25 = 24.75$ g になります。

24.75

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第9回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	12	24	36	48	60
物質Bの重さ	1.2	2.4	3.6	4.8	6

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $1.2 \div 12 = 0.1$ になります。

0.1

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1

- (4) ① 物質Aが17.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ17.5gを0.1倍すればよいことになるので $17.5 \times 0.1 = 1.75$ g になります。

1.75

g

- ② 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 1.75 = 19.25$ g になります。

19.25

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.1で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.1 = 184$ g になります。

184

g

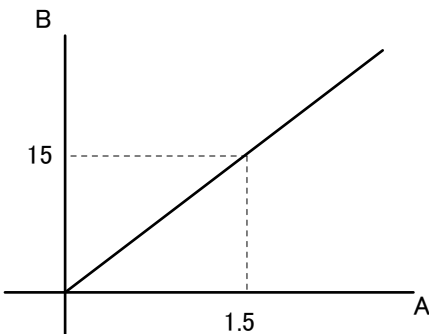
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 184 = 202.4$ g になります。

202.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが36gのとき、物質Bの重さが3.6gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $3.6 \div 36 = 0.1$ になります。

0.1

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1

- (4) 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $17.5 \times 0.1 = 1.75$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 1.75 = 19.25$ g になります。

19.25

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第10回

氏名

得点

1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	19	38	57	76	95
物質Bの重さ	7.6	15.2	22.8	30.4	38

(1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $7.6 \div 19 = 0.4$ になります。

0.4

倍

(2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

(3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

(4) ① 物質Aが15gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ15gを0.4倍すればよいことになるので $15 \times 0.4 = 6$ g になります。

6

g

② 物質Aが15gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $15 + 6 = 21$ g になります。

21

g

(5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.4で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.4 = 46$ g になります。

46

g

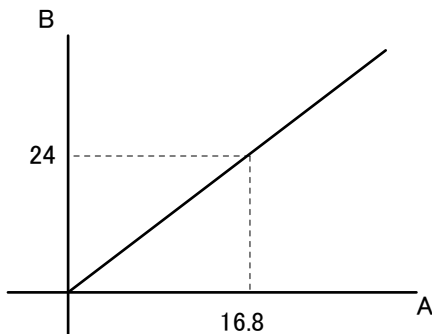
② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 46 = 64.4$ g になります。

64.4

g

2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



(1) グラフは、物質Aの重さが57gのとき、物質Bの重さが22.8gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $22.8 \div 57 = 0.4$ になります。

0.4

倍

(2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

(3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

(4) 物質Aが15gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $15 \times 0.4 = 6$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $15 + 6 = 21$ g になります。

21

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第11回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	8	16	24	32	40
物質Bの重さ	18.4	36.8	55.2	73.6	92

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $18.4 \div 8 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3

- (4) ① 物質Aが17.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ17.5gを2.3倍すればよいことになるので $17.5 \times 2.3 = 40.25$ g になります。

40.25

g

- ② 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 40.25 = 57.75$ g になります。

57.75

g

- (5) ① 物質Bが11.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ11.5gを2.3で割ればよいことになるので、 $11.5 \div 2.3 = 5$ g になります。

5

g

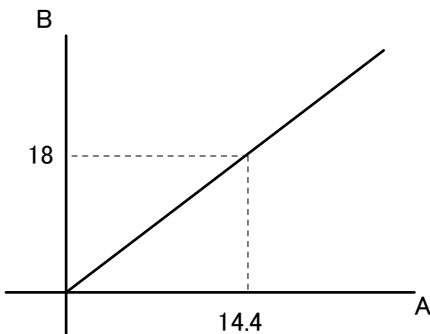
- ② 物質Bが11.5gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $11.5 + 5 = 16.5$ g になります。

16.5

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが24gのとき、物質Bの重さが55.2gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $55.2 \div 24 = 2.3$ になります。

2.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×2.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの2.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷2.3

- (4) 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $17.5 \times 2.3 = 40.25$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 40.25 = 57.75$ g になります。

57.75

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第12回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	19	38	57	76	95
物質Bの重さ	3.8	7.6	11.4	15.2	19

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $3.8 \div 19 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.2

- (4) ① 物質Aが20gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ20gを0.2倍すればよいことになるので $20 \times 0.2 = 4$ g になります。

4

g

- ② 物質Aが20gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $20 + 4 = 24$ g になります。

24

g

- (5) ① 物質Bが13.8gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ13.8gを0.2で割ればよいことになるので、 $13.8 \div 0.2 = 69$ g になります。

69

g

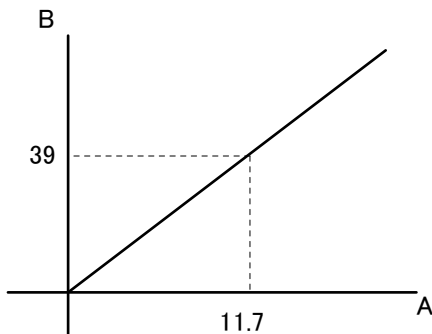
- ② 物質Bが13.8gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $13.8 + 69 = 82.8$ g になります。

82.8

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが57gのとき、物質Bの重さが11.4gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $11.4 \div 57 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.2

- (4) 物質Aが20gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $20 \times 0.2 = 4$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $20 + 4 = 24$ g になります。

24

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第13回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	13	26	39	52	65
物質Bの重さ	2.6	5.2	7.8	10.4	13

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $2.6 \div 13 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2

- (4) ① 物質Aが20gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ20gを0.2倍すればよいことになるので $20 \times 0.2 = 4$ g になります。

4

g

- ② 物質Aが20gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $20 + 4 = 24$ g になります。

24

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.2で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.2 = 92$ g になります。

92

g

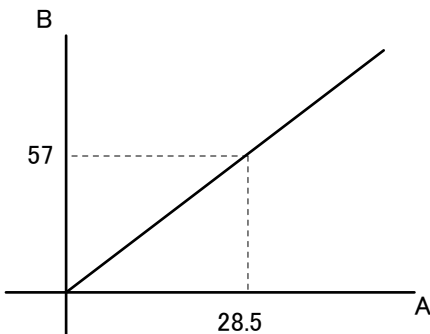
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 92 = 110.4$ g になります。

110.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが39gのとき、物質Bの重さが7.8gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $7.8 \div 39 = 0.2$ になります。

0.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.2

- (4) 物質Aが20gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $20 \times 0.2 = 4$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $20 + 4 = 24$ g になります。

24

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第14回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	17	34	51	68	85
物質Bの重さ	15.3	30.6	45.9	61.2	76.5

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $15.3 \div 17 = 0.9$ になります。

0.9

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.9倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.9 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.9

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.9倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.9 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.9

- (4) ① 物質Aが12.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ12.5gを0.9倍すればよいことになるので $12.5 \times 0.9 = 11.25$ g になります。

11.25

g

- ② 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 11.25 = 23.75$ g になります。

23.75

g

- (5) ① 物質Bが20.7gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ20.7gを0.9で割ればよいことになるので、 $20.7 \div 0.9 = 23$ g になります。

23

g

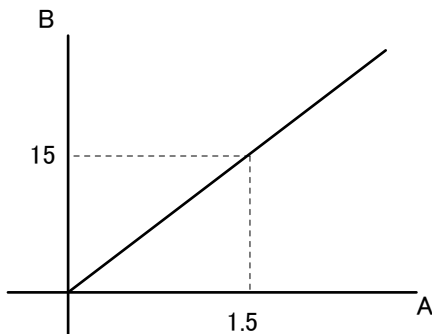
- ② 物質Bが20.7gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $20.7 + 23 = 43.7$ g になります。

43.7

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが51gのとき、物質Bの重さが45.9gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $45.9 \div 51 = 0.9$ になります。

0.9

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.9倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.9 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.9

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.9倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.9 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.9

- (4) 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $12.5 \times 0.9 = 11.25$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 11.25 = 23.75$ g になります。

23.75

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第15回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	4	8	12	16	20
物質Bの重さ	36.8	73.6	110.4	147.2	184

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $36.8 \div 4 = 9.2$ になります。

9.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの9.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×9.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×9.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの9.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷9.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷9.2

- (4) ① 物質Aが12.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ12.5gを9.2倍すればよいことになるので $12.5 \times 9.2 = 115$ g になります。

115

g

- ② 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 115 = 127.5$ g になります。

127.5

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを9.2で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 9.2 = 2$ g になります。

2

g

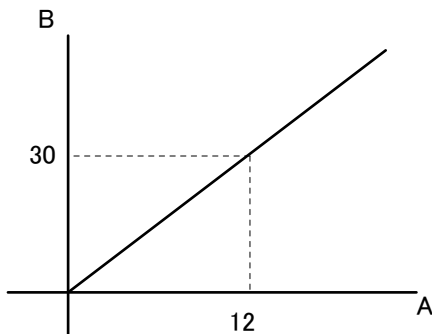
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 2 = 20.4$ g になります。

20.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが12gのとき、物質Bの重さが110.4gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $110.4 \div 12 = 9.2$ になります。

9.2

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの9.2倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×9.2 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×9.2

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの9.2倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷9.2 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷9.2

- (4) 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $12.5 \times 9.2 = 115$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 115 = 127.5$ g になります。

127.5

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第16回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	5	10	15	20	25
物質Bの重さ	0.5	1	1.5	2	2.5

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $0.5 \div 5 = 0.1$ になります。

0.1

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1

- (4) ① 物質Aが12.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ12.5gを0.1倍すればよいことになるので $12.5 \times 0.1 = 1.25$ g になります。

1.25

g

- ② 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 1.25 = 13.75$ g になります。

13.75

g

- (5) ① 物質Bが13.8gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ13.8gを0.1で割ればよいことになるので、 $13.8 \div 0.1 = 138$ g になります。

138

g

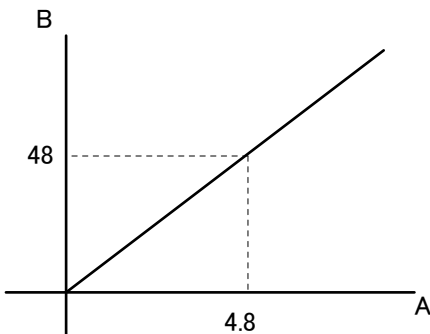
- ② 物質Bが13.8gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $13.8 + 138 = 151.8$ g になります。

151.8

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが15gのとき、物質Bの重さが1.5gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $1.5 \div 15 = 0.1$ になります。

0.1

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.1

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.1倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.1

- (4) 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $12.5 \times 0.1 = 1.25$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 1.25 = 13.75$ g になります。

13.75

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第17回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	20	40	60	80	100
物質Bの重さ	8	16	24	32	40

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $8 \div 20 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) ① 物質Aが12.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ12.5gを0.4倍すればよいことになるので $12.5 \times 0.4 = 5$ g になります。

5

g

- ② 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 5 = 17.5$ g になります。

17.5

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.4で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.4 = 46$ g になります。

46

g

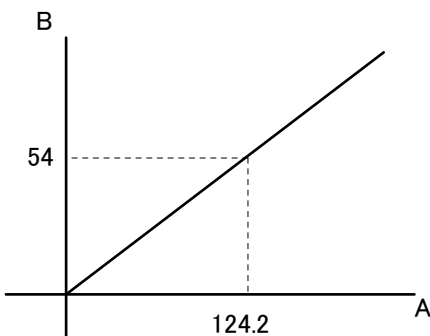
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 46 = 64.4$ g になります。

64.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが60gのとき、物質Bの重さが24gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $24 \div 60 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) 物質Aが12.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $12.5 \times 0.4 = 5$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $12.5 + 5 = 17.5$ g になります。

17.5

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第18回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	19	38	57	76	95
物質Bの重さ	7.6	15.2	22.8	30.4	38

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $7.6 \div 19 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) ① 物質Aが22.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ22.5gを0.4倍すればよいことになるので $22.5 \times 0.4 = 9$ g になります。

9

g

- ② 物質Aが22.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $22.5 + 9 = 31.5$ g になります。

31.5

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.4で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.4 = 46$ g になります。

46

g

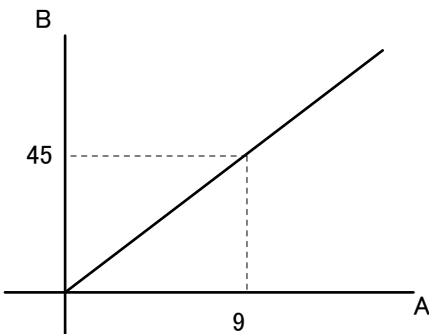
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 46 = 64.4$ g になります。

64.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが57gのとき、物質Bの重さが22.8gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $22.8 \div 57 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) 物質Aが22.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $22.5 \times 0.4 = 9$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $22.5 + 9 = 31.5$ g になります。

31.5

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第19回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	19	38	57	76	95
物質Bの重さ	7.6	15.2	22.8	30.4	38

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $7.6 \div 19 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) ① 物質Aが17.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ17.5gを0.4倍すればよいことになるので $17.5 \times 0.4 = 7$ g になります。

7

g

- ② 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 7 = 24.5$ g になります。

24.5

g

- (5) ① 物質Bが18.4gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ18.4gを0.4で割ればよいことになるので、 $18.4 \div 0.4 = 46$ g になります。

46

g

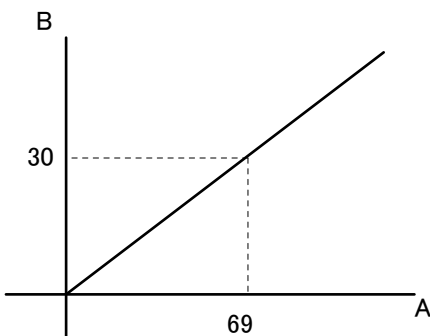
- ② 物質Bが18.4gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $18.4 + 46 = 64.4$ g になります。

64.4

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが57gのとき、物質Bの重さが22.8gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $22.8 \div 57 = 0.4$ になります。

0.4

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ \times 0.4

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.4倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ \div 0.4

- (4) 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $17.5 \times 0.4 = 7$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A \cdot B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 7 = 24.5$ g になります。

24.5

g

とにかく計算！ いっぱい計算！ 毎日計算！ 第20回

氏名

得点

- 1 物質Aと物質Bが反応すると物質Cができます。過不足なく反応するAとBの量を調べると、右の表のような関係があることがわかりました。この表について次の各問に答えなさい。

物質Aの重さ	6	12	18	24	30
物質Bの重さ	1.8	3.6	5.4	7.2	9

- (1) 物質Aの重さに対して、何倍の重さのBが反応して、物質Cを作っていますか。

物質Aの重さをもとに、物質Bを重さが何倍になるかを聞いていますから、反応するBの重さを、物質Aの重さで割って $1.8 \div 6 = 0.3$ になります。

0.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.3

- (4) ① 物質Aが17.5gあるとき、これに過不足なく反応する物質Bは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aの重さ17.5gを0.3倍すればよいことになるので $17.5 \times 0.3 = 5.25$ g になります。

5.25

g

- ② 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 5.25 = 22.75$ g になります。

22.75

g

- (5) ① 物質Bが13.8gあるとき、これに過不足なく反応する物質Aは何gになりますか。

物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Bの重さ13.8gを0.3で割ればよいことになるので、 $13.8 \div 0.3 = 46$ g になります。

46

g

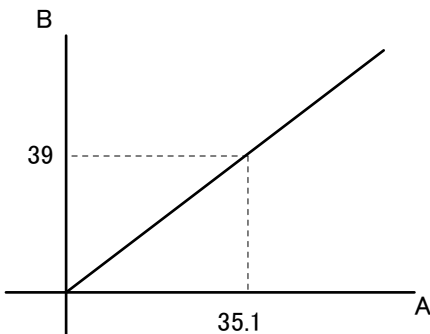
- ② 物質Bが13.8gあり、これが、すべて物質Aと反応したら、何gのCができますか。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $13.8 + 46 = 59.8$ g になります。

59.8

g

- 2 次のグラフは、横軸に物質Aの重さを縦軸に物質Bの重さをとったもので、このグラフは原点を通る直線で表されています。このグラフについて、次の各問に答えなさい。



- (1) グラフは、物質Aの重さが18gのとき、物質Bの重さが5.4gであることを示しています。このことから、物質Aは、その何倍の重さの物質Bと反応して物質Cを作ることになるかを求めなさい。

物質Bは物質Aの何倍の重さかを聞いていますから、物質Bの重さを物質Aの重さで割ればよいことになるので、 $5.4 \div 18 = 0.3$ になります。

0.3

倍

- (2) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Bの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.3倍の言葉の通りの式を立てれば良いことになるので、物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.3 となります。

物質Bの重さ=物質Aの重さ×0.3

- (3) 反応する物質Aと物質Bの重さの関係を表す式を、物質Aの重さ=で始まる式で表しなさい。

物質Bの重さは物質Aの重さの0.3倍の言葉の通りに立てた式の形を変えて、物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.3 となります。

物質Aの重さ=物質Bの重さ÷0.3

- (4) 物質Aが17.5gあり、これが、すべて物質Bと反応したら、何gのCができますか。

まず、物質Aの重さと物質Bの重さの関係を表す式から、物質Aと過不足なく反応する物質Bの重さを求めます。よって、 $17.5 \times 0.3 = 5.25$ g になります。

物質Cは物質Aと物質Bとからできるので、できた物質Cの重さは、物質A・B2つの重さの和になるので、 $17.5 + 5.25 = 22.75$ g になります。

22.75

g